

然に日本の非常時局は断じて戦争激發による國際非常時局に非らずして日本國家産業の資本主義的經營の破綻崩壊による行詰りから惹起される労働階級の最後の生活危機の國內非常時である。故に一九三六年を頂點として經濟界は一大混亂の狀態と化しその被害は大嵐となつて吾々労働階級に眞先に襲ひかかつて來るのである。その大嵐に備へ斷固微動だにせざる戦備を今より用意して置かねばならぬ。吾等は本大會を契機として更に陣營の内部を整備し消費組合を擴充し共濟事業を充實させ組合員直接の福利増進を圖りつつ同一職場の全従業員を悉く吾がセメント労働組合の傘下に集結し確實なる労働組合主義の大旗を掲げて全従業員の協力一致の團結を以て極左極右の無責任なる思想的動搖を遮斷し國家産業繁榮の第一線に立つ労働者の誇りと權威を以て國家産業の健全なる發

展に協力の誠を盡して産業の平和を確立し分配公平を期し以て先ずセメント労働者の生活向上安定を圖ると共に日本労働組合會議加盟の全友誼團體と協力一義体となつて労働階級解放の戦列へ積極的に参加するものである。
茲に第七回年次大會を迎へて敢えて吾等の方針を内外に宣言する

昭和九年九月三十日

日本労働セメント労働組合門司支部
福岡 協調會

第七回年次大會